

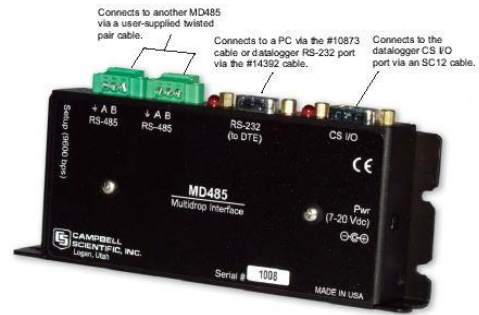
RS-485 ネットワークインターフェース C-MD485

概要

RS-485 ネットワークインターフェース C-MD485 は、CS I/O 及び RS-232C ポートを使用して RS-485 ネットワークを構成するためのモジュールです。

C-MD485 を使用することで、複数の PC から複数のデータロガーと通信することができます。また、PC とデータロガーの遠距離有線接続(1.2 kmまで)が可能になります。(PC・データロガーそれぞれ 1 台につき C-MD485 が 1 台必要になります)

PC に接続する C-MD485 には、オプションである 12V 電源 C-15966(オプション)が必要になります。



- 安価なツイストペアケーブルでネットワークが構築できます。
- 低消費電力です(C-MD9 より安価、C-NL100 より低消費電力)
- 高速=115.2kBPS(内部バッファを持っているので、ロガーとの通信速度が異なってもデータは保持されます)
- モデムを介しての通信も可能です。
- C-MD9 をソフト的にエミュレートするので、C-PC208W サポートソフト経由の接続も可能
- CALL BACK 可能(ロガーからの呼び出し)

仕様

適用データロガー	C-CR800、C-CR1000、C-CR3000
対応サポートソフト	ロガーネットまたは CS-PC208W(C-MD9 エミュレーションモード)
電源	DC7~20V(ロガーから、または専用電源 C-15966)
消費電流	待機時 1.2mA(14.4mW)、通信時 2~7mA(24-84mW)
通信速度	1200/9600/19200/38400/57600/115200 bps
使用温度範囲	-25℃~+50℃(XT タイプ : -55~+85℃)
寸法/重量	159×64×19mm / 128g
付属品	C-SC ケーブル : CS I/O port(C-CR800、C-CR1000、C-CR3000) C-10873 RS-232C ストレートケーブル : PC との接続用
オプション	C-14392 RS-232C クロスケーブル(Null Modem Cable) : ロガーの RS-232port(C-CR1000 or C-CR3000)
推奨ケーブル	22 または 24AWG(0.2/0.3mm ²) 2 組のシールドツイストペアケーブル(4 芯)
アース	シールド線の片側のみ推奨(筐体はアースしない)
接続デバイス数	電気的には 256 台可能>管理不能なので推奨しない

